

# 荒木望遠鏡で探る

# 新星の世界

平成26年3月29日(土) 15時～16時30分

講師・新井 彰 氏

(兵庫県立大学西はりま天文台 天文学研究員)

新星と聞いてみなさんはどのようなイメージをお持ちでしょうか？

新星は一度燃え尽きた星で起きる核融合爆発によって明るく輝く天体であり、燃え尽きた星の復活劇なのです。このような新星の爆発によって窒素、炭素、酸素、鉄など私達に身近な元素が宇宙空間に撒き散らされます。こうして撒き散らされた元素が太陽系や銀河系の元素進化にも深く関わっていることが最近の研究から明らかになりつつあります。

2010年に開設した神山天文台では、これまでに多数の新星を観測し、新しい発見をしてきました。今回の講演では、荒木望遠鏡によって行われた新星研究の成果をご紹介します。新星と太陽系の関係や、新星観測の現場についてお話ししたいと思います。

## 講師紹介



新井 彰

(あらい あきら)

兵庫県立大学西はりま天文台 天文学研究員 / 元・京都産業大学神山天文台 特定研究員  
専門分野：新星などの突発増光天体

会場 | 神山天文台 地下1階 サギタリウスホール

申込み | 不要(当日直接、神山天文台までお越しください。)  
※満席の場合は入場できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

対象 | 中学生以上の方

費用 | 無料

主催 | 京都産業大学 神山天文台

後援 | 京都市教育委員会

その他 | 講座終了後には「アストロノミー・カフェ」(16:30～18:00)を開催します。お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂ける機会です。どうぞ、くつろぎながらお楽しみください。

●当日は19:00～21:00まで天体観望会を実施しますので、講座と併せてぜひご参加ください。なお、天候不良の場合は宇宙の3D映像上映会を実施します。

(19:00～、20:00～各回30分程度)

お問い合わせ：京都産業大学 神山天文台  
(TEL: 075-705-3001 HP: <http://www.kyoto-su.ac.jp/kao/>)